

建設水道常任委員会審査概要報告書

委員長 坂林 永喜

- I 開催年月日 平成 29 年 3 月 16 日 (木)
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午後 0 時 05 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎坂林 永喜 ○福井 直樹 水口 清志
大井 正樹 山沼 茂敏
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] ※曾田 康司議長は総務文教常任委員会出席のため欠席
- [副議長] ※樋詰 和子副議長は委員として出席
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 安東 浩志 宮島 謙治
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 1 号 平成 29 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分
- 議案第 4 号 平成 29 年度高岡市駐車場事業会計予算
- 議案第 9 号 平成 29 年度高岡市水道事業会計予算
- 議案第 10 号 平成 29 年度高岡市工業用水道事業会計予算
- 議案第 11 号 平成 29 年度高岡市下水道事業会計予算
- 議案第 23 号 高岡市手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第 29 号 富山高岡広域都市計画事業新駅周辺土地区画整理事業施行に関する
条例を廃止する条例
- 議案第 30 号 高岡市営駐車場条例の一部を改正する条例
- 議案第 33 号 工事請負契約の締結について
(（仮称）道の駅雨晴地域振興施設新築工事)
- 報告第 1 号 専決処分の報告について
(平成 28 年度高岡市一般会計補正予算 (第 4 号))
- 議案第 34 号 平成 28 年度高岡市一般会計補正予算 (第 5 号) のうち本委員会所管分
及び
- 議案第 36 号 平成 28 年度高岡市駐車場事業会計補正予算 (第 1 号)

以上、当初予算議案5件、条例議案3件、その他議案1件、報告1件及び追加提出された補正予算議案2件の計12件については、審査の結果、全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第1号のうち、中心市街地公共交通活性化事業費について】

- 中心市街地公共交通活性化事業費が増額となった理由は。また、コミュニティバスの利用状況と今後のあり方についての見解は。
- △ これまで当初予算において、コミュニティバス運行に係る経費として4,000万円を計上してきた。近年、車両等の老朽化が進んでおり、運行経費の不足分や修繕費を3月補正予算で対応してきたが、平成29年度では、これらの見込額を当初予算に計上して措置をお願いするものである。
- コミュニティバスの利用状況と今後のあり方についての見解は。
- △ コミュニティバスの年間乗車人数については、オレンジルートは初期の15～16万人が現在では10万人を下回っており、ブルールートは運行ルートの見直しを重ね、当初から約5万人の利用が続いている状況である。両運行ルートの乗車人数を合わせた利用者の総数は減少しているといえる。今後は、運行ルートや便数、乗車密度等も勘案しながら、コミュニティバスのあり方を検討していきたい。

【議案第1号のうち、道路橋りょう費について】

- 能越自動車道の利便性向上対策に関する検討会において、福岡本線料金所を廃止し、小矢部東本線料金所に統合する方針がまとまったが、見解は。
- △ 料金所の統合により、地元利用者の料金負担に配慮するよう働き掛けるとともに、今後の福岡パーキングエリアのインター化については、富山県道路公社などと協議しながら、本市の考えをしっかりと打ち出していくこととしたい。
- コンクリートの劣化等が原因で、通行車両の重量が制限された橋梁への対応は。
- △ 現在、災害時の緊急輸送道路や交通量を考慮して、橋梁の改修を計画している。点検の結果、厳しく判定された橋梁については、富山県道路メンテナンス会議で相談しながら今後の対応を考えたい。

【議案第1号のうち、防災センター整備事業費について】

- 防災センターの整備にあたっては、防災の見地から様々な用途に活用できるよう配慮すべきと考えるが、見解は。
- △ 利用し易さや、多岐にわたる用途を踏まえ施設を整備したい。

【議案第1号のうち、市街灯管理・LED化推進事業費について】

- 市街灯管理・LED化推進事業費に関して、導入する電球色の考え方は。
- △ LED灯は、省電力であり環境にやさしいことから、市街灯のLED化を進めていく。LED灯は、蛍光灯と比べ「チカッ」とした感じがすると認識している。ナトリウム灯については、オレンジ色でやさしい色合いが特徴であり、トンネル内等で使用されている。

【議案第1号のうち、交通ネットワーク整備事業費について】

- 交通ネットワーク整備事業費に関連して、高岡砺波スマートインターチェンジの今後の計画交通量と利用促進策は。
- △ 平成42年の計画交通量は、1日当たり2,400台を見込んでいる。今後もインターチェンジの利便性を、企業や市民にPRしていきたい。
- 交通ネットワーク整備事業費における幹線道路整備事業費で予定する主な工事路線は。
- △ 井口本江18号線、戸出光明寺戸出竹線、並行在来線新駅アクセス道路、上牧野下牧野2号線などの測量設計工事を予定している。

【議案第1号のうち、末広町西地区整備推進事業費について】

- 末広町西地区整備推進事業費の事業概要とその内訳は。
- △ まちなかに立地する老朽建築物を、9名の地権者が共同で分譲マンション等にて建てる民間の再開発事業である。建築物の概要は、地上16階・地下1階、戸数は98戸で、1階は2区画の商業施設、2階は交流施設、平成29年3月から31年3月までの工期を予定している。事業費の内訳は、29年度の建築工事費に対する補助金であり、国が2分の1、県・市がそれぞれ4分の1ずつの負担である。

【議案第1号のうち、街路整備事業費について】

- 街路整備事業費における幹線道路整備事業費の内訳と平成29年度の工事内容は。
- △ 都市計画道路木津佐野線と下伏間江福田線の未整備部分、下伏間江福田線とJR城端線の交差点の地下道整備工事に係るJR西日本への委託料である。29年度は国道156号・県道高岡庄川線間の国道側交差点や地方卸売市場の中央出入口付近の工事などを予定している。

【議案第1号のうち、博労まちかどサロン整備事業費について】

- 空家等対策事業費のうち、博労まちかどサロン整備事業費の内訳は。
- △ 補助対象事業費の総額は1,500万円で、内訳は改修費、設計費、住宅取得費等の建物に係る費用で、用地取得に係る費用は含まれていない。負担割合は、国が3分の1、本市が3分の1、地元自治会が3分の1である。
- 「博労まちかどサロン」のような施設を、今後も整備していくのか。
- △ 博労地区での取り組みを、整備のモデルとするとともに、拠点として市民に広めていきたいと考えている。今後も住民からの要請があれば、相談に乗りながら整備

を検討していきたい。

【議案第9号のうち、収益的支出について】

- 「高岡の水」の平成29年度のモンドセレクション出展予定は。また、3年連続して金賞を受賞する可能性は。
- △ 平成28年12月に応募しており、その結果は29年4月又は5月に発表される。高岡市の水道水は、優れた水質であるため、金賞は受賞できるものと期待している。
- ホテルに「高岡の水」を格安で納入する等して、客室に置いてもらい、宿泊客に宣伝することを考えては。
- △ 客室に置いてもらうよう働き掛けは行っているが、各ホテルの方針等もあるため、実現に至っていない。今後もできる範囲でPRするとともに、引き続き研究していきたい。

【議案第9号のうち、資本的支出について】

- 火災時等に消火栓を一斉に使用すると、その能力を最大限に発揮できないと考えるが、同時に使用できる上限は。また、これにより、病院等への水の供給が滞る恐れがあることから、危機管理面を含めた供給体制を整備しては。
- △ 消火栓を設置にあたり、5栓を開口して使用した場合に水利を保てるよう、水道管の口径について消防本部と調整を図っている。次期、高岡市上下水道ビジョンを策定するなかで、災害対策も重要な課題となっており、避難所、病院等の重要拠点への水の供給を確保するため、今後は、水利計算等を踏まえたうえで、水道管の布設替えを行う予定である。

【議案第11号のうち、資本的支出について】

- 中心市街地に布設されている下水道陶管の更新をどのように進めていくのか。また、市内に残存する鉛給水管の状況は。
- △ 老朽化した下水道陶管については、管更生工事により更新していくこととしており、10年間で全ての陶管の更新を目指している。また、鉛給水管は、平成27年度末現在、約6,100カ所に残存しており、今後、年間約600カ所、10年間で残存する全ての給水管の更新を目指している。
- 農業集落排水処理場の耐用年数は。
- △ 建築物については50年、機械設備については15年であるが、必要に応じて更新等していく。現在、市内のいずれの処理場についても更新時期には至っていない。

【議案第34号のうち、高岡駅前東地区整備推進事業費について】

- 高岡駅前東地区整備推進事業費において、用地取得に係る費用を補正予算に計上した理由は。
- △ 高岡市土地開発公社が所有する旧駅前ビル跡地のうち、南側部分の約1,030平方メートルについては、これを買戻し、今後、交流広場の整備を予定している。当該事業については、国の平成28年度追加補助内示があったため、今回の補正予算

に計上するものである。

【議案第 36 号のうち、事業収入について】

- 平成 28 年度の駐車場事業会計における収入と利用台数の状況は。
- △ 平成 27 年度と比較して、利用台数は微増であるが、中心市街地の駐車場では、駐車料金が 1 時間無料となる社会実験を実施しているため、収入は減少を見込んでいる。

2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

[都市創造部]

- 平成 28 年度道路除雪について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【道路除雪について】

- 最大積雪深については、伏木測候所の他、戸出、中山間地等最低 3 カ所で観測して、実態に即した記録を資料として残していくべきでは。
- △ 今後は、伏木測候所の他、複数の地点で報告させていただきたい。
- 日中の通勤時間帯の道路除雪作業については、除雪車両が道路交通の妨げとなることもあるが、できる限り実施していただきたい。(要望)

[上下水道局]

- 高岡市上下水道ビジョン (H29～H38) について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 次回の常任委員会の開催について
4 月 18 日(火)午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

建設水道常任委員会 当局説明員（19名）

都市創造部長	藤井久雄	上下水道事業管理者	新井雅夫
次長	太田裕之	理事 次長	田町芳昭
次長	長谷川徹	次長 水道工務課長	松本靖彦
参事	戸田泰之	参事 総務課長	嘉信和昭
参事	舘下徹	営業課長	島伸浩
参事 都市計画課長	堀英人	下水道工務課長	小嵐正吾
参事 交通政策課長	鶴谷俊幸	施設維持課長	村中賢一
花と緑の課長	村本民則		
建築指導課長	大坪正英		
道路建設課長	赤阪忠良		
土木維持課長	久郷聡		
建築住宅課長	中野光成		